



**川口けいすけの グリーンス川越**

編集/発行 川越市議会議員 川口 啓介(無所属)  
〒 350-8601 川越市元町1-3-1 川越市役所6F 無所属議員控え室  
TEL 070-6998-3687 FAX 049-227-3810 E-mail kawaguchi-keisuke@outlook.com

**64**  
since2003

27年度一般会計予算

# 未来からの借金 ついに1000億円越え!

川越市の市債残高は10年前の約767億円から約30%増え、ついに1000億円の大台を超えました。これは、川越市の1年間の予算額と同規模ということです。

今後、川越市でも老朽化した公共施設や、道路、橋などの社会資本の再整備が必要な時期が迫っており、「次の世代でも使う物を造るのだから、未来から借金をすることで世代間の負担を公平にするのだ」という理由に妥当性があっても、どこまででも借

金をしてよいということにはなりません!

何にどれだけお金をかけるのか、選択が必要です!

## 27年度計上した主な市債

① 新斎場整備事業債	約25.3億円
② 学校給食以外施設整備事業債	約15.6億円
③ 道路新設改良事業債	約6億円
④ 街路事業債 *	約4.6億円
⑤ 新河岸駅周辺地区整備事業債	約4.3億円
⑥ 小学校大規模改造事業債	約2.2億円
⑦ 中学校大規模改造事業債	約1.9億円

\* 主に市街地の道路整備事業です。

## 川口の一般会計予算質疑より

... 上記の財政状況を踏まえても

# 雨漏いだらけの学校で良いはずがない!!

修繕予算が確保されない現状! 今年の執行率はなんと13%

## 事業の必要性と優先順位の精査を!

一つの学校で、天井や壁から雨が流れ落ち、バケツでこれを受ける、そんな箇所が複数あるのが現在の川越市の学校です。

私の予算質疑の中で明らかになったのが、学校から毎年300件以上の修繕要望がある中、例年10%~20%しか修繕予算が確保されていない現状と、今年度からは国からの億単位の補助金がなくなり、小中学校の大規模改造事業計画が滞る現実でした。これまでと同じ予算配分で

良いわけがありません。修繕要望と執行率について認識が不十分だった財政部局には教育費の増額を求め、教育委員会には、予算要求段階での予算に対するマネジメントが必要だと指摘し、事業の必要性と優先順位の精査を求めました。財政部局は、「現状を把握し、安全面を優先し出来る限りの予算措置をする」、教育委員会も「今後は必要があると考えている」とし、今後の改善が期待される答弁でした。ただ、それぞれの部署の現状は、川越市行政の問題点を如実に現しています。

## ジェネリック医薬品利用差額通知サービス開始へ!

生活習慣病の国民健康保険加入者に対し、処方された薬をジェネリック医薬品に変えた場合いくらか安くなるかをお知らせするサービスが始まります。これにより、患者の経済負担が減り、医療費の軽減にもつながります。私の一般質問から丸2年かかりました **またまた** が、27年度ようやく実現します!

川口けいすけの提言が **実現します!**

